

# ふるさと通信 Vol.46

2014年11月

徐々に朝晩の冷え込みが厳しくなり、日没の時間も急速に早くなってきているように感じる新潟です。田んぼの整地作業や堆肥撒きがようやく終わり、今は秋打ち（秋耕）を急いで進めているところです。日が短くなってくると、なかなか作業が間に合わなくてちょっと焦りますね。ところで、この時期は山から戻って来た赤トンボ達が田んぼに産卵する季節でもあります。天気の良い日は姿を見せませんが、お日様が出て気温が上昇してくると、どこに隠れていたのかと思うくらいの大群が里を覆います。仕事をしていてもちょっと指を立てればすぐに止まる程です。年々赤トンボが減っている地域も多いと聞くので、いつまでもこの原風景を残せていけたらなと思います。



醤油粕、米ヌカ、粃殻を発酵させた自家製堆肥。おいしいお米はまず土作りから！



高いところのベトを削って低い所へ、毎年の地道な管理が大切です。

10月8日、上越では雲も無く、澄んだ空の元で皆既月食を観測することが出来ました。神秘的な月の姿に感動！



今回のサービス品は、バアバの畑でとれた里芋です。煮物やお味噌汁にいかがでしょうか。寒暖の差が激しく体調管理も難しいですね。風邪など召されませんようご自愛下さい。

2014年11月1日 金谷 武志

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ  
“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>

ホームページ：<http://www.kanaya-farm.jp/>

Eメール：[info@kanaya-farm.jp](mailto:info@kanaya-farm.jp)